

TECSUN

TECSUN ELECTRONIC IND. LTD.

TECSUN PL-660

PLL シンセサイザー受信機

FMステレオ / 中波 / 長波 / 短波-SSB / エアバンド



取扱説明書

JP-kbys 2012

目 次

目次	2
概要	4
各部の名称と働き	5
液晶表示部	7
電源をオン/オフする	9
放送局を受信する	11
方法1：手動で放送局を受信する	11
方法2：自動ブラウザで放送局を受信する	11
方法3：周波数をキー入力して放送局を受信する	12
放送局をメモリに登録する	13
方法1：手動で放送局に登録する	13
方法2：セミオートマチックで放送局に登録する	13
方法3：自動受信登録（ATS）で放送局に登録する	14
FMでATSを使う	14
中波/長波でATSを使う	14
短波でATSを使う	14
別のメモリページを選択する	15
メモリに登録した放送を消去する	15
方法1：手動で一つずつ消去する	15
方法2：セミオートマチックで消去する	16
方法3：ページ内のすべてのメモリを消去する	16
メモリに登録した放送局を受信する	17
方法1：登録した局を手動で受信する	17
方法2：登録した局を自動ブラウザする	17
方法3：直接キー入力して登録した局を受信する	17
スリープ機能	18
時計を合わせる	18
アラームを設定する（ラジオによるのみ）	19
アラームに使う放送局を設定する	19
アラーム時刻を設定する	19
スヌーズ機能	20
インテリジェント照明機能	20
バックライトのオン/オフ	20
選局のステップ幅を設定する	21
FMステレオ放送を聴く	21
AM帯域幅を調節する	22

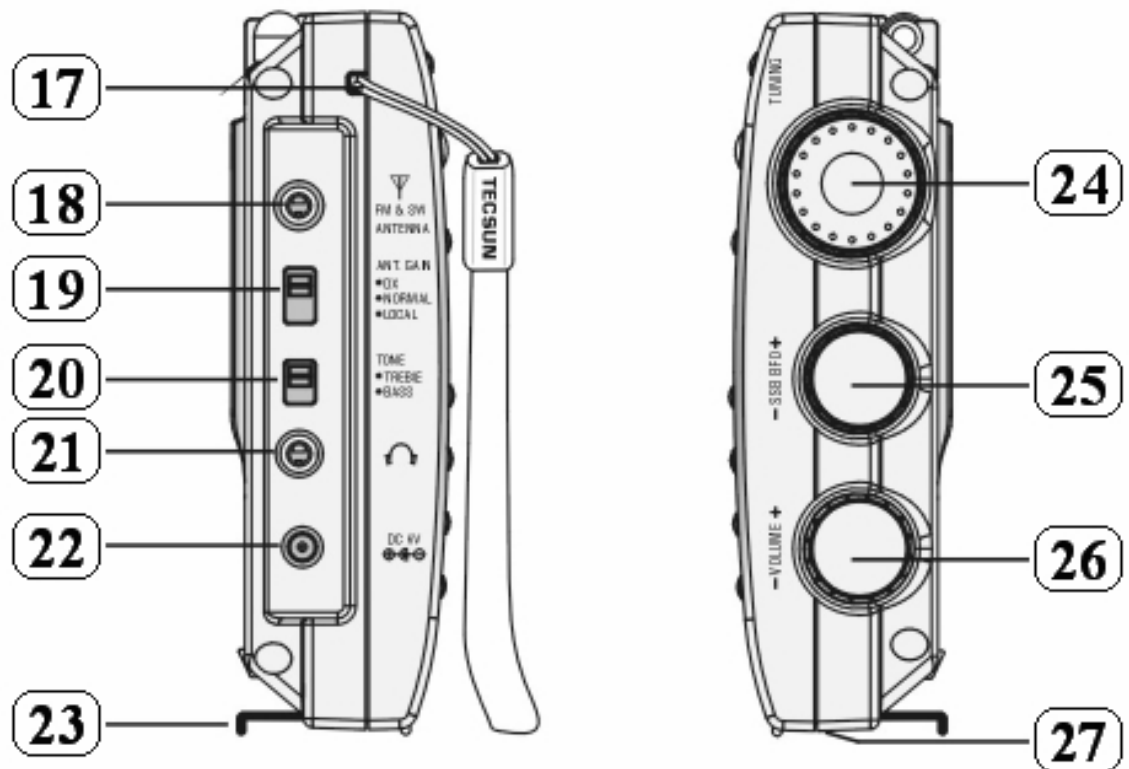
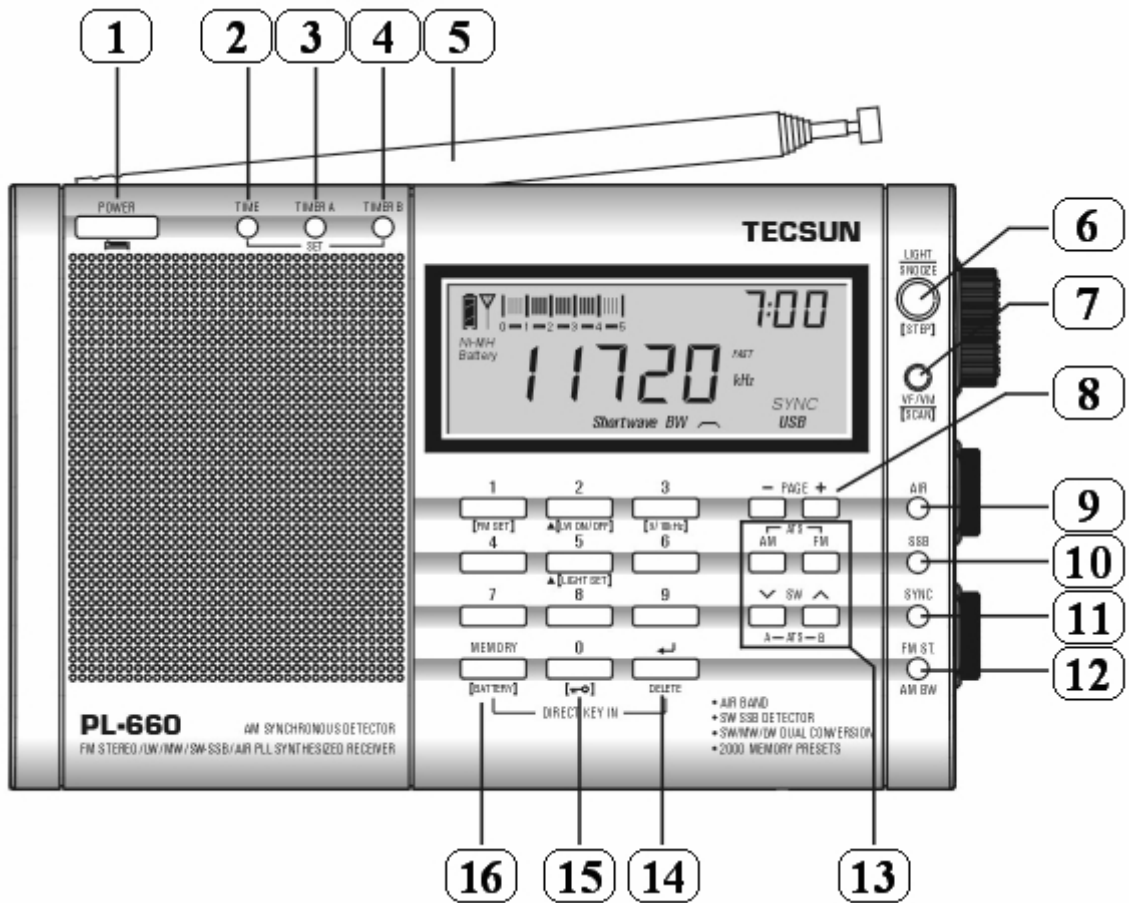
目 次

アンテナ感度を調節する	22
音質を調節する	22
キーロック機能	23
インテリジェント充電機能	23
SSB（シングルサイドバンド）を受信する	23
同期検波機能	24
FM / SW受信状態を改善する	24
システムの設定（電源オフ状態で）	25
FM周波数範囲の設定	25
長波受信のオン/オフ	25
中波受信の周波数ステップの設定	25
インテリジェントオートライティングのオン/オフ	25
充電機能のオン/オフ	25
乾電池を使用する	25
充電式電池を使用する	25
リセットの手順	26
電池を使用するための重要な事項	26
トラブルシューティング	27
製品仕様	29

本製品の概要

- FM-ステレオ/中波/長波/短波/SSB/エアバンド（118 から 137 MHz）
高感度と高選択性のワールドワイドレシーバー
- 簡単操作と高品質のアコースティックサウンド
- 76 MHz から 108 MHz まで世界の FM 放送帯に対応
- SSB（USB および LSB）
- 同期検波とデュアルコンバージョン技術は AM 帯域に適用されます。（受信機の感度、選択性、抗相互変調、チャンネルの混信が改善されます）
- FM / SW 用・外部アンテナジャック
- 3 レベルの感度セレクター（中/高/低）
- 種々の選局方法：
 - 自動受信登録（ATS）
 - マニュアル選局 --- 5 秒間リスニング機能付自動スキャン
 - 周波数の直接キー入力
- 2000 局（手動、半自動と全自動）をメモリ登録
 - FM / AM / 長波/エアバンド用 100 局
 - 短波用 200 局
 - SSB 用 200 局
 - 全てのバンド用 1200 局（100 局 12 ページ）
- 高音/低音トーンコントロールスイッチ付きアコースティック・スピーカー
（イヤホン経由で FM ステレオを聴取可能）
- タイマー設定、周波数チューニング、メモリ選択は多機能コントロールノブで簡単に使えます。
- 2つのタイマーでプリセットした放送局をオンにすることができます。
- タイマー（1～120 分）でラジオの電源を自動的に切ることができます。
- 中波では 9KHz/10KHz でチューニング・ステップを切り替えられます。
- アンテナ感度を DX / ローカル/ノーマルで調節できます。
- バックライトとスヌーズ機能
- 信号強度とバッテリー消費量の表示
- システムリセット機能
- 4×単三型電池、DC-6V
- 寸法：187×114×33 ミリメートル

各部の名称と働き

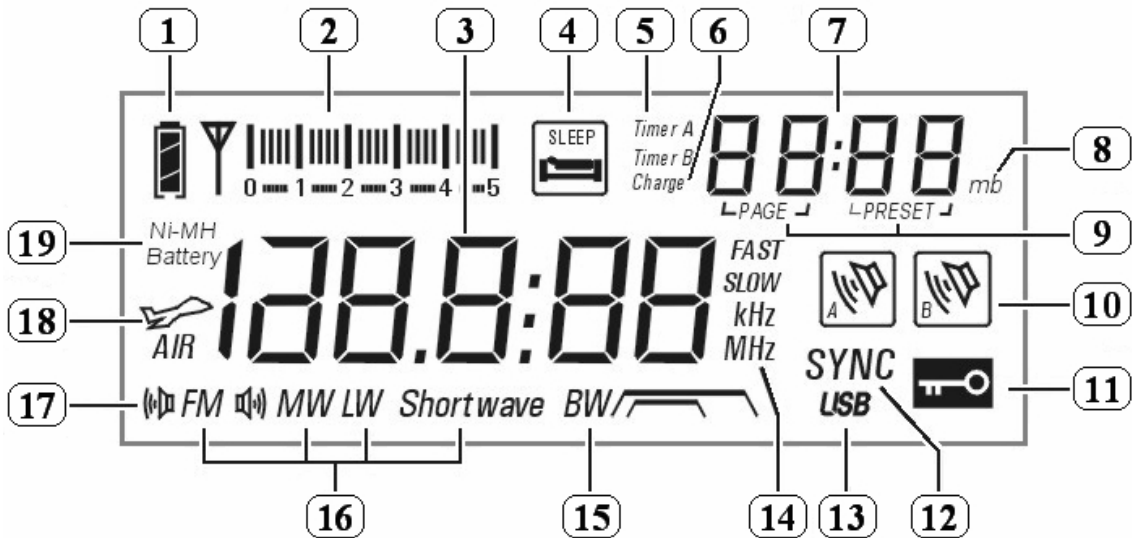


各部の名称と働き

1. 電源 / スリープボタン
2. 時間を設定する
3. タイマーA アラームを設定する
4. タイマーB アラームを設定する
5. FM&SW 用ロッドアンテナ
6. ライト / スヌーズ / ステップ切換え
7. 周波数モード・メモリモード切替え / スキャン開始
8. メモリのページを送る
9. エアバンドを受信する
10. SSB（シングルサイドバンド）を受信する
11. 同期検波（SYNC）を行う
12. FMステレオ、AM帯域幅を選択する
13. FM/AM（中波、長波）/ 短波バンド、ATS
14. 削除、または決定する
15. キーロックする
16. メモリ / バッテリーボタン
17. ハンドキャリーベルト
18. FM / 短波 アンテナジャック
19. アンテナ感度（DX / ノーマル / ローカル）スイッチ
20. 高音/低音トーンコントロール
21. イヤホンジャック
22. DC 6V ジャック
23. スタンド
24. 選局つまみ
25. SSB BFO つまみ
26. 音量つまみ
27. リセットスイッチ

注：ラジオにカッコ付き赤文字で印刷している機能は、電源が切れているときにのみ、操作することができます。

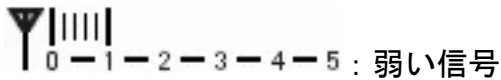
液晶表示部



1. バッテリー消費量



2. 信号強度



3. デジタルナンバー表示

電源オフ：時間およびシステム設定

電源オン：周波数またはエラー表示

4. スリープタイマー表示

5. アラームタイマーA および B

6. 充電表示

7. デジタルナンバー表示：

電源オフ：プリセットアラーム時刻、充電時間

電源オン：時刻、ページ・メモリアドレス、短波放送帯

8. 短波放送帯メーター表示

9. PAGE：メモリページ番号



PRESET：メモリアドレス番号

10. アラームタイマーA および B のオン/オフ表示

11. キーロック表示

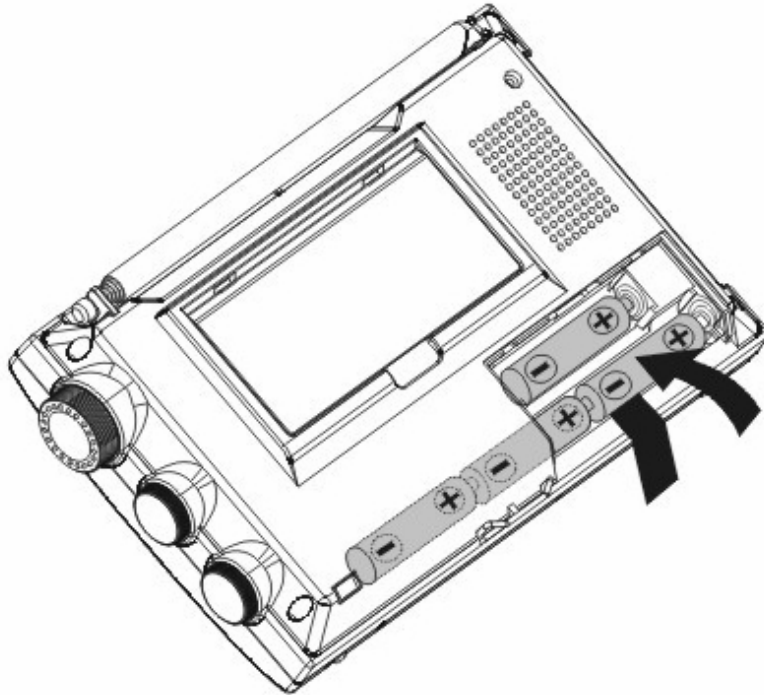
12. 同期検波の表示

液 晶 表 示 部

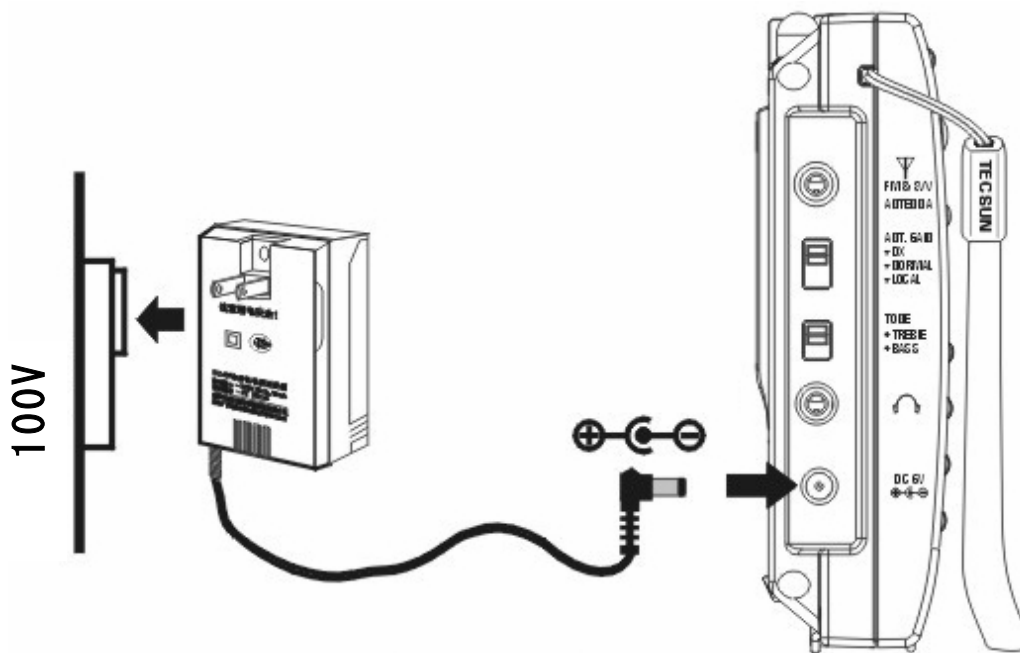
13. SSB モードの表示
 - USB : 上側波帯
 - LSB : 下側波帯
14. 選局速度と周波数単位 :
 - Slow : 低速
 - Fast : 高速
 - KHz : 中波、長波、短波の周波数の単位
 - MHz : FM の周波数の単位
15. AM 帯域幅表示
 -  : AM 広帯域
 -  : AM 狭帯域
16. FM、中波、長波、短波放送表示
17. FM ステレオ表示
18. エアバンド表示
19. NiMH (ニッケル水素) 充電式電池表示

電源をオン/オフする

1. 電池カバーを開きます。ラジオの背面にある電池の極性図を参考に単3型電池を入れて電池カバーを閉じます...

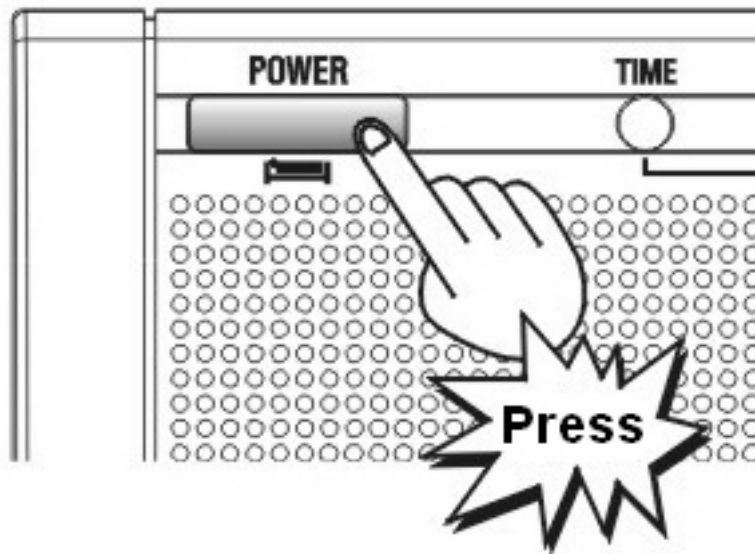


もしくは、本機を付属の電源アダプタに接続します。



電源をオン/オフする

2. [Power] ボタンを押してラジオの電源を入れます。



注意：

ラジオのスイッチが入らない場合は、電池の向きが正しく入っているか、電池残量が十分あるかを確認してください。

キーロックされている場合は、画面上に"**⏻**"が表示されます（ロックを解除するには、**[⏻]**ボタンを長押しします）。

スリープタイマーの時間を調整するには電源ボタンを長押しし、チューニングつまみを回します。

放送局を受信する

[Power] ボタンを押してラジオのスイッチを入れ、[FM], [AM], 短波[V]/[A] または [AIR] ボタンを押して聴きたい放送バンドを選択します。FM / エアバンド / 短波放送を受信する場合には、よく受信できるようにロッドアンテナを伸ばします。中波と長波放送を受信する場合は、ラジオを回転させたり、ラジオの位置を変えたりしてよく受信できるようにします。[VOLUME] つまみを回して適切な音量に調整します。

以下の選局方法で放送局を受信できます。

方法 1：手動で放送局を受信する

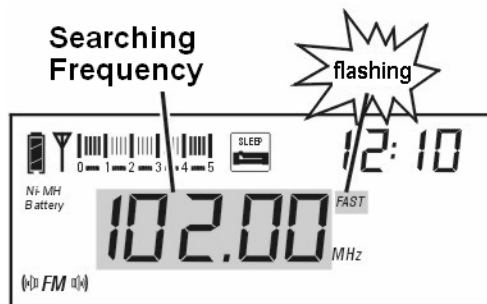
[VF/VM] ボタンを押して、ディスプレイ上の周波数表示を点滅させて周波数モードに切り替え、[TUNING] つまみを回して聴きたい放送局を受信します。



Frequency mode

方法 2：自動ブラウズで放送局を受信する

1. [VF/VM] ボタンを押して、ディスプレイ上の周波数表示を点滅させて周波数モードに切り替えます。
2. [VF/VM] ボタンを長押しすると自動ブラウズが開始します。電波を検出すると約 5 秒間放送を受信し、その間に操作をしなければブラウズを再開します。
3. 自動ブラウズ機能を停止して聴きたい放送局を受信するには、もう一度[Vf/VM] ボタンを押すか、[TUNING] つまみを回します。



Auto browse station

注意：

1. 自動ブラウズ機能の動作中に[MEMORY] ボタンを押すことで、いつでもメモリに放送局を登録することができます。ラジオは次に聴取可能な放送局を探して自動ブラウズを続けます。
2. 自動ブラウズ機能は、エアバンドとSSBでは使用することが出来ません。

放送局を受信する

方法 3 : 周波数をキー入力して放送局を受信する

1. [VF/VM]ボタンを押して、ディスプレイ上の周波数表示を点滅させて周波数モードに切り替えます。
2. [0] - [9]数字キーを押して、放送局の周波数を入力する。

注意 :

1. FMの周波数を入力するときは小数点を無視します。例えば、FM79.3 MHzは、単に[7] [9] [3]を入力します。
2. 入力周波数がカバーする範囲外の場合は、ディスプレイに"*Err*" (エラー)が表示されます。

放送局をメモリに登録する

PL-660には優れた柔軟性を持つメモリストレージがあり、2000局を登録することができます。以下の点に注意してください。

1. メモリページ0は[P0]と表示されます。FM / MW / LWに各100局、SW & SSBに各200局とエアバンド100局、合計800局をメモリに登録できます。
2. メモリページ1～12は[01]、[02]と表示されます。各ページは100局、計1200局が登録でき、ページ0と合わせて2000局を登録することができます。

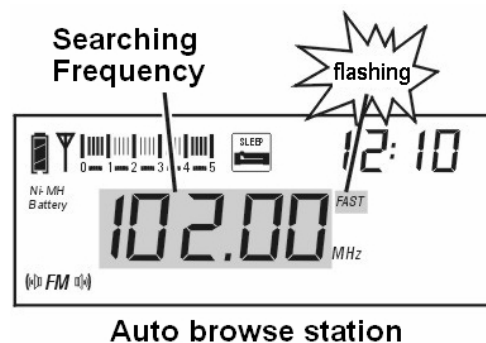
放送バンド	メモリの登録可能数と自動受信登録の可否			
	各バンド用メモリ(800局)		全バンド用メモリ(1200局)	
	ページ 0	ATS	ページ1～12	ATS
FM	100	可	各ページ 100局	各ページで可 (SSB、エアバンドを除く)
中波	100	可		
長波	100	可		
短波	200	可		
SSB	200	不可		
エアバンド	100	不可		

方法 1：手動で放送局を登録する

1. [FM] [AM] [SW]ボタンを押して放送バンドを選択し、聴きたい放送局を選局します。
2. [MEMORY]ボタンを押すと、登録可能なメモリページが点滅します。
3. 登録するメモリアドレスを指定するには、[TUNING]つまみを回します。
4. もう一度[MEMORY]ボタンを押すと放送局をメモリに登録できます。3秒待つことでも自動的に登録できます。

方法 2：セミオートマチックで放送局を登録する

自動ブラウズ (11ページ参照) をしながら、[MEMORY]キーを押すだけで放送局を登録することができます。



放送局をメモリに登録する

方法 3：自動受信登録（ATS）で放送局に登録する

FM で ATS を使う

1. ロッドアンテナを伸ばし、[FM]ボタンを押して FM バンドを選択します。
2. "PRESET"が点滅するまで[FM]ボタンを長押しし、周波数スキャンを開始させます。開始後は受信可能な放送局を自動的にメモリに登録し、完了すると自動的に停止します。登録された放送局は[TUNING]つまみを回して選択できます。

中波/長波で ATS を使う

1. [AM]ボタンを押して中波/長波バンドを選択します。
2. [AM]ボタンを長押しし、中波または長波の ATS を実行します。

短波で ATS を使う

ロッドアンテナを伸ばし、SW[V][^]ボタンを押して短波バンドを選択します。

短波の ATS には 2 つのモードがあります。

モード A:[V]を長押しすると全てのメーターバンドで ATS を実行します。

モード B:[^]を長押しすると現在のメーターバンドでのみ ATS を実行します。

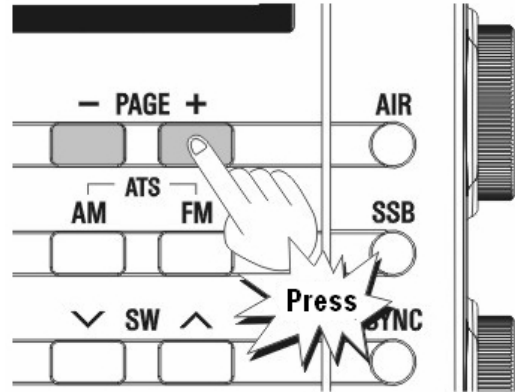
注意：

1. FM、中波、長波、短波（モード A）で ATS を実行すると、以前に登録した放送局は新しく検索された放送局によって自動的に置き換えられます。
2. 短波の ATS（モード B）では、既存のメモリ登録は置き換えられません。新たに検索された放送局は、空いているメモリアドレスに登録されます。
3. 周囲の電波干渉が多く、ATS を実行したときに放送局がない周波数がメモリ登録される場合には、ロッドアンテナ（FM および短波）を縮めたり、本機を回転（中波および長波）させたり、よく受信できる場所に移動します。また、[ANT.GAIN]スイッチを"NORMAL"または"LOCAL"の位置にしてアンテナ感度を調節します。

放送局をメモリに登録する

別のメモリページを選択する

1. [FM]、[AM]または[SW]ボタンを押して放送バンドを選択してから、希望の放送局に選局します。
2. [MEMORY]ボタンを押し、右上のメモリアドレスを点滅させます。
3. [- PAGE+]ボタンを押して使いたいメモリページを表示させ、[TUNING]つまみを回して登録したいメモリアドレスを選択します。
4. メモリに放送局を登録するには再度[MEMORY]ボタンを押すか、3秒間待つことで自動的に登録されます。

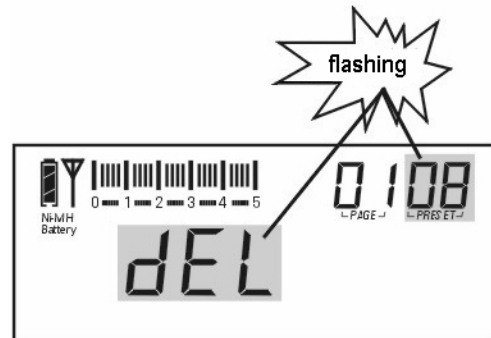


メモリに登録した放送局を消去する

[VF/ VM]ボタンを押してディスプレイの右上隅にメモリアドレスを表示させ、メモリモードに入ります。不要な放送局を消去する方法は以下のとおりです。

方法1：手動で1つのメモリを消去

[TUNING]つまみを回して消したいメモリアドレスを表示させます。[DELETE]ボタンを長押しすると "dEL"表示が点滅するので、もう一度[DELETE]を押すとメモリに登録された放送局が消去されます。



注意：

"dEL"が点滅している間に[DELETE]ボタンを押さないと、メモリは消去されずに自動的に戻ります。

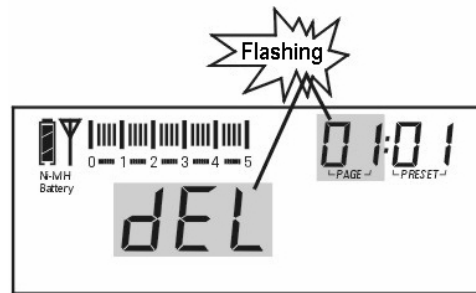
放送局をメモリに登録する

方法 2 : セミオートマチックで消去する

[VF/VM] を長押しして自動ブラウズを開始します。不要な放送局が表示されたときに[DELETE]ボタンを押すとメモリから消去することが出来ます。他のボタンを押して自動ブラウズを停止するまで、ラジオは次に受信できる放送局のブラウズを続けます。

方法 3 : ページ内のすべてのメモリを消去する

[DELETE]ボタンを3秒間長押しすると、メモリアドレスのページと"dEL"表示が点滅します。再度[DELETE]ボタンを押すとメモリページ内のメモリに登録した放送局が全て消去されます。



Delete ALL Memory

注意 :

[DELETE]ボタンを 3 秒以内に押さない場合には、メモリは消去されずに自動的に戻ります。

登録した放送局を受信する

放送バンドを選択し、[VF/ VM]ボタンを押し、メモリモードに入るためにメモリアドレスをディスプレイの右上に表示させます。

[- PAGE+]ボタンを押して使いたいメモリページを表示させます。登録されている放送局を受信するには以下の3つのチューニング方法を使います。



Changing memory pages

方法 1：登録した局を手動で受信する

登録されている放送局を受信するために[TUNING]つまみを回します。

方法 2：登録した局を自動ブラウズする

"PRESET"が点滅するまで [VF/ VM]ボタンを押すと自動スキャンが開始し、約5秒間、登録した放送局を受信して次の局に移ります。メモリの自動スキャンを停止するには、[TUNING]つまみを回すか、もう一度[Vf/ VM]ボタンを押します。



Auto browse memory


方法 3：直接キー入力して登録した局を受信する

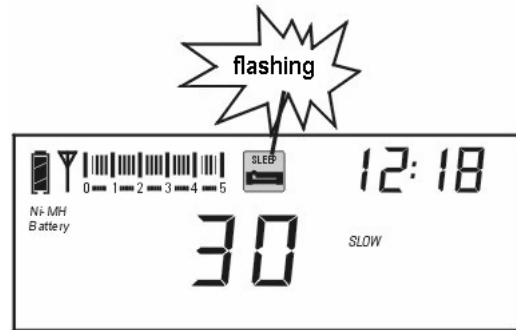
数字キー[0]～[9]を押して直接メモリアドレスを入力し、確定のためもう一度[←]ボタンを押します。


注意：

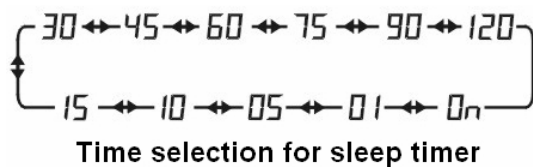
番号を入力後、ディスプレイに" — — — — "が表示されている場合は、入力したメモリページ/アドレスが存在しません。

スリープ機能

1. [POWER] ボタンを長押しし""の表示が点滅するとスリープタイマーモードに入ります。



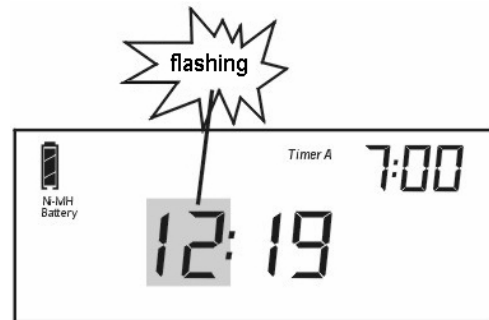
2. [TUNING]つまみを回して1~120分からスリープ時間を選択します。""を選択するとスリープしません（ラジオは1秒後に電源が入ります）。



注意：スリープタイマーの初期設定は30分です。

時計を合わせる

1. [TIME] ボタンを長押しして時刻を点滅させます。時刻を調整するには [TUNING] つまみを回します。
2. [TIME] ボタンを押して分を点滅させ、 [TUNING] つまみを回して分を調整します。
3. 時刻設定を確定するために、[TIME] ボタンをもう一度押します。



Time setting

- ※ [TIME] ボタンを3秒以内に再び押されていない場合、時刻設定は自動的に確定します。
- ※ [TUNING] つまみを回転させる代わりに、数字キーで時間/分を設定することもできます。

アラームを設定する（ラジオのみ）

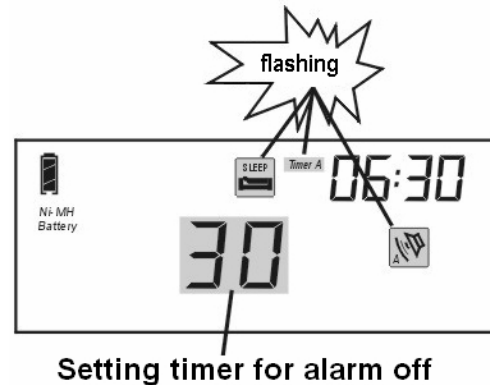
アラームにつかう放送局の選択：

1. ラジオの電源を入れ、アラームにしたい放送局を選局し、音量レベルを調整します。
2. [MEMORY]ボタンを押してすぐに[TIMER A]または[TIMER B]ボタンを押してください。

ディスプレイ上に "A" または "B" 表示が点滅し、アラームで使用する放送局が確定します。

アラーム時刻を設定する：

1. [TIMER A]ボタンを長押しし、時刻表示を点滅させます。[TUNING]ノブを回して時刻を調整します。
2. [TIMER A]ボタンを押して分表示を点滅させ、[TUNING]ノブを回して分を調整します。
3. 再び[TIMER A]ボタンを押して、[TUNING]ノブを回してアラームオフタイマーを設定します。設定時間は1～90分です。
4. 設定を確定するために、[TIMER A]ボタンを押してください。





※ [TIMER A]ボタンを3秒以内に押して確定されていない場合、アラーム設定は自動的に確定されます。

注意：設定した時刻になると自動的に電源が入り、アラームで設定した放送局に切り替わります。あらかじめ設定したオフタイマーの時間になると、自動的に電源は切れます。



スヌーズ機能

アラームを設定した時刻に入った場合、[LIGHT/SNOOZE]ボタンを押すことで一時的にアラームを止めることができます。

このとき、ディスプレイ上に ""または ""表示が点滅し、5分後に再びアラームがオンになります。

注意：

1. [TIMER A]または[TIMER B]ボタンを繰り返し押すことで、アラームをオン/オフにすることができます。

ディスプレイ上に ""または ""の表示がある場合はアラームが有効になっています。表示されていない場合はアラームが無効です。

2. アラーム設定でラジオの電源が入った場合、続けてラジオを聞きたいときには[POWER]ボタンを一度押します。ラジオを消したいときは2回押します。
3. アラームが有効でラジオを聞いているとき、アラーム設定時刻になると、アラームで設定した放送局に切り替わります。

インテリジェント照明機能

本機は任意のキーやノブを操作するとバックライトが3秒間点灯するインテリジェント照明機能を備えています。

バックライトのオン/オフ：

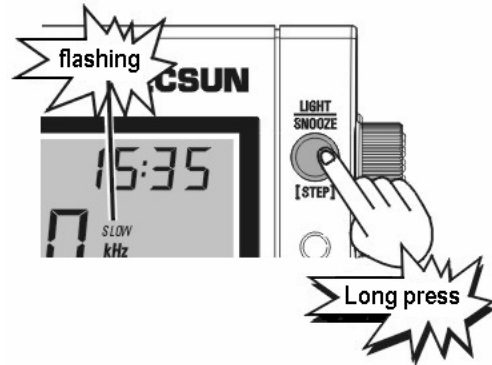
[LIGHT/SNOOZE]ボタンを押すと液晶のバックライトが3秒間点灯します。連続して点灯させるには[LIGHT/SNOOZE]ボタンを長押しします。バックライトをオフにするにはもう一度ボタンを押します。

注意：

1. 本機がバッテリーで動作中は、消費電力を少なくするため、バックライトの連続点灯を避けてください。
2. 電源がオフになった時は、連続点灯も自動的にオフになります。




選局ステップ幅を設定する

インテリジェントな選局ステップ機能は初期状態で有効になっています。[STEP]ボタンを長押しすることで、高速/低速の選局ステップ幅を選択できます。各バンドの高速/低速の選局ステップ幅は下の表のとおりです。



放送バンド	選局のステップ幅		
	高速/低速 ("Fast/Slow"が点滅表示)		低速 ("Slow"が点滅表示)
	[TUNING]つまみをゆっくり回した場合	[TUNING]つまみを素早く回した場合	[TUNING]つまみを素早く、またはゆっくり回した場合
FM	0.01MHz	0.1MHz	0.01MHz
中波	1KHz	9KHz/10KHz	1KHz
長波	1KHz	19KHz	1KHz
短波	1KHz	5KHz	1KHz
エアバンド	1KHz	25KHz	1KHz

FM ステレオ放送を聴く

1. FM ステレオ放送局を受信中、[FM ST.]ボタンを押して"が表示されると、ステレオ放送が有効になります。受信した FM 放送信号が弱すぎる場合は、再度[FM ST.]ボタンを押して "の表示を消し、ステレオ機能をオフにすることを推奨します。
2. スピーカーで FM ステレオ放送局を聴くときには、ステレオ機能をオフにすると音質が向上します。
3. FM 局がステレオ放送でない場合は、"が表示されず、ステレオ機能が有効になりません。

AM 帯域幅を調節する

[AM BW]ボタンを押すと中波、長波、短波、およびSSBで必要な帯域幅を選択することができます。

広帯域

強い信号またはローカル局を受信したとき、良い音質で聞くことができます。

狭帯域

信号の弱い遠距離の放送局を受信するのに適しています。隣接する強力な信号からの干渉を制限し、バックグラウンドノイズを低減することができます。



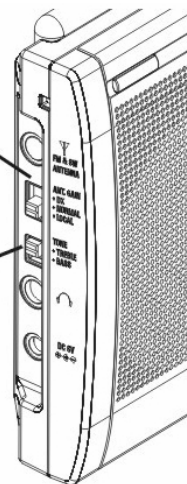
AM Bandwidth Indiction

アンテナ感度を調節する

通常は[ANT.GAIN]スイッチを"DX"の位置にしてください。もし強力な信号や強い電氣的干渉があるときは、"NOMAL"または"LOCAL"の位置に切り替えて、バックグラウンドノイズや電波干渉を抑えます。

ANT. GAIN
DX:
NORMAL:
LOCAL:




TONE
TREBLE:
BASS:



音質を調整する

[TONE]スイッチを上にするると音質は高音に、下にするると低音になります。

キーロック機能

キーロック機能を有効にするには、ボタンを長押しします。ディスプレイに””が表示され、キーロック機能が有効になります。再びボタンを長押しするとキーロックが解除されます。

インテリジェント充電機能

インテリジェント充電機能を有効にするには、ラジオをオフにしてから単三型充電式電池を入れます。ディスプレイ左上に充電式電池の表示がされます。

充電する場合は、付属の電源アダプタを本機に接続して充電します。充電中はディスプレイに充電の進行状況が表示され、充電が完了すると停止します。



[充電式電池の表示]

アルカリ乾電池を使用する場合は、充電機能をオフに切り替えてください。
(本機の電源がオフのときに[BATTERY]ボタン長押しし、ディスプレイの左上に表示されている充電式電池表示を消して乾電池の表示にしてください)

注意：

1. 再充電する前に充電電池の残量をすべて使い切ってください。バッテリーの使用可能時間を長く良好な状態に保つことができます。
2. 4個の電池を一つのグループとして使用し、他の用途に分けて使わないでください。また、容量の違う充電電池を混ぜて使わないでください。
3. 危険なので非充電式電池に充電しないでください。ラジオが故障します。
4. 指定以外の電圧と異なる電源アダプタを使用しないでください。

シングルサイドバンド (SSB) を受信する

1. 短波モードで[SSB]ボタンを押すことで、上側波帯 (USB) または下側波帯 (LSB) を選択できます。
 - ・ "USB"表示は、USBの選択を示しています。
 - ・ "LSB"表示は、LSBの選択を示しています。
 - ・ "USB"と"LSB"表示が消えると短波放送に切り替えたことを意味します。
2. SSBの周波数は数字キーで直接入力することを推奨します。
3. [SSB BFO]つまみで微調整し、音声を復調します。

同期検波機能

AM放送を受信するとき、隣接した強力な信号からの電波干渉がある場合は、SYNC機能を有効にすると受信状態を改善することができます。

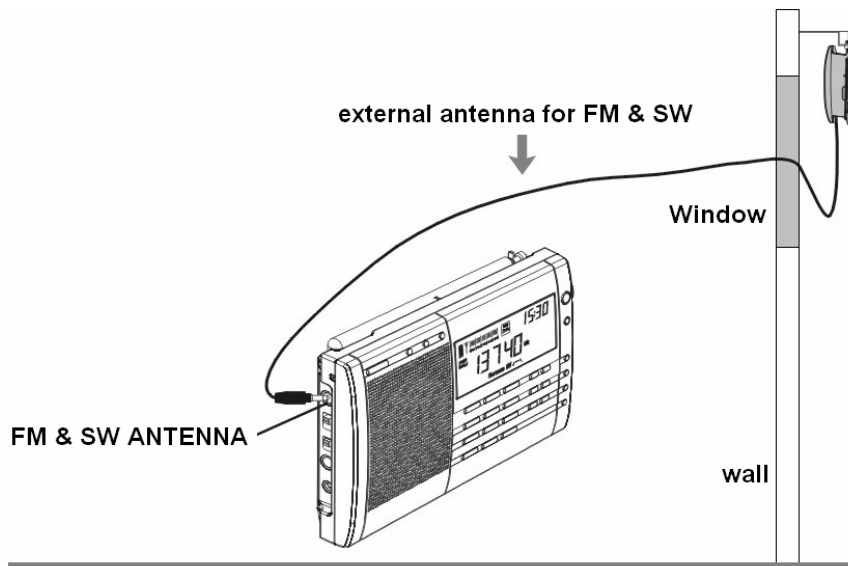
1. [SYNC]ボタンを押し、"^{SYNC}USB"または"^{SYNC}LSB"を選択して最適な受信状態にします。
2. 同期検波機能を無効にするには、"^{SYNC}USB"と"^{SYNC}LSB"表示が消えるまで[SYNC]ボタンを押してください。

注意：

1. AM局は通常状態で受信するのが良い音で聞くことができます。妨害や混信があった場合、同期検波機能を有効にして隣接する放送局の信号に合わせることで、受信状態を改善することができます。
2. "SYNC"シンボルが点滅し続ける場合には、無線信号が弱すぎるか周波数がずれていることを示しています。同期検波機能は適切に機能できていないので、使用しないことを推奨します。

FM / SW 受信状態を改善する

FM/SW の受信状態を改善するには、[FM&SW ANTENNA]端子に外部ワイヤーアンテナプラグを挿し、もう一方の端を窓の外に引っ掛けます。



注意：雷が鳴っているときに外部アンテナを使用しないでください！

システムの設定（電源オフ状態で）

FM 周波数範囲の設定

[FM SET]ボタンを長押しし、88-108 MHz または 76-108 MHz または 87-108 MHz をディスプレイに表示させます。適した周波数範囲が表示されたらすぐに[FM SET]ボタンを押して確定します。

長波受信のオン/オフ

[AM]ボタンを長押し、"LW ON"または "LW OFF"をディスプレイに表示させ、それぞれ長波受信をオンまたはオフにします。

中波受信の周波数ステップ設定

[9/10kHz]ボタンを長押しし、"9 kHz"または "10 kHz"をディスプレイに表示させて中波放送を受信するときの周波数ステップを選択します。

インテリジェントオートライティングのオン/オフ

インテリジェントオートライティング機能の工場出荷時の初期設定は、任意のキーやノブを操作する際にバックライトが3秒間にされるようにオンになっています。

オートライティング機能を無効にするには、[LIGHT SET]ボタンをディスプレイに"OFF"が表示されるまで長押しします。有効にするには"ON"が表示されるまで再度[LIGHT SET]ボタンを長押しします。

充電機能のオン/オフ

乾電池を使用する：

ラジオの電源を切り、"CHA OFF"が表示されるまで[BATTERY]ボタンを長押しします。"Ni-MH Battery"表示が消えて乾電池の残量表示になり、内蔵の充電機能がオフになります。

充電式電池を使用する：

ラジオの電源を切り、"CHA ON"が表示されるまで [BATTERY]ボタンを長押しします。"Ni-MH Battery"表示が現れ充電式電池の残量表示になり、内蔵の充電機能がオンになります。

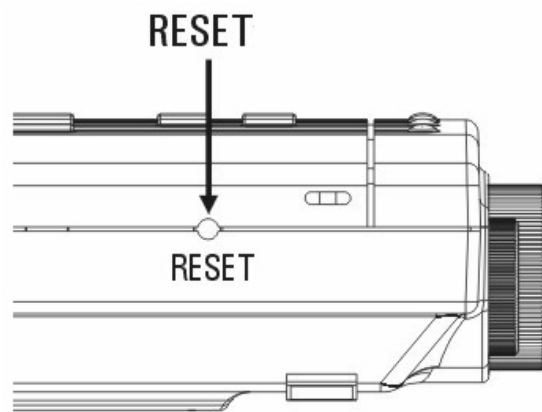
注意：

このラジオの初期出荷状態は充電式電池になっています。乾電池を使用する場合には電池残量を適切に表示させるため、本機の設定を変更してください。

リセットの手順

本機が正常に動作しない場合は、設定をリセットすることが出来ます。リセットするには底面にある[RESET]ボタンの穴を、まっすぐに伸ばしたペーパークリップなど先のとがったものでゆっくりと押ししてください。

注意：リセットボタンを押しても、メモリに登録された放送局は削除されません。




Located at the bottom of radio

電池を使用するための重要な事項

1. 電源が長期間供給されない状態では時計は消えてしまいますが、メモリに保存された放送局の周波数は消えません。
2. 電池残量が少なくなった場合には、ディスプレイに "□" が点滅し、新しい電池に交換するよう警告します。電池残量がなくなったときには、電源が自動的にオフになります。
3. 新しい電池と古い電池を混ぜて使用すると電池残量が正しく表示されず、故障の原因となることがあります。
4. 本機を長期間使用しない場合は電池漏れを防ぐため、電池を取り出しておいてください。

トラブルシューティング

質問	回答	解決方法
ラジオの電源がはいらない。	電池残量がありません。	新しい電池に取り替えます。
	電池を正しく入れます	電池の向きをよく確認して入れ直します。
	キーロック機能が有効です	[]ボタンを押しキーロックを解除します。
使用中にラジオの電源が切れる。	電池残量がありません	新しい電池に取り替えます。
	スリープタイマーが起動しています	ラジオの電源を入れ直します。
ATSでメモリに登録できない放送局がある。	放送局の電波が弱すぎます	手動で放送局を探してください。
ノイズだけの周波数が登録された。	近くに電波干渉があります	アンテナの感度を下げるか、ラジオの置く場所を変えて試してください。
一部のFM局しか受信できない。	FM周波数範囲の設定が間違っている。	ラジオの電源を切り、[FMのSET]ボタンを長押しして正しいFM周波数範囲を選択します。
アメリカで中波放送が少ししか受信できない。	アメリカの中波放送は10 kHzの周波数ステップを使用しています	ラジオの電源を切り、[9/10kHz]ボタンを長押しして正しい周波数ステップを選択します。
SW SSB放送の音が低すぎる。	帯域幅の初期設定は、狭帯域です。	[AM BW]ボタンを押して広帯域を選択してください。
アラームがオンになったとき、雑音しかでない。	アラーム用の放送局を設定していません。	適切に放送局を設定してください。
	設定した放送局が放送していません。 設定した周波数の放送局がない別の都市にあります。	設定した放送局の放送が受信できることを確認してください。

質問	回答	解決方法
充電電池の使用できる時間が短くなってきた。	充電電池が古くなっています。	新しい充電電池に交換してください。
ラジオが誤動作する。	電気的な干渉によっておきる可能性があり、コンピュータマイクロチップが正しく機能しません。	全ての電池を抜いて電源を入れ直してください。 それでもまだ誤動作する場合は、先のとがったものを使ってリセットボタンを押してください。

製品仕様

1. 周波数レンジ:

FM: 76 ~ 108 / 87 ~ 108 MHz ステップ: 0.01 MHz / 0.1 MHz

中波: 522~1620/520~1710kHz

選局ステップ: 南北アメリカ用に10KHz、ほかの国用に 9KHz

長波: 100 ~ 519 kHz ステップ: 1 kHz / 9 kHz

短波: 1711 ~ 29999 kHz ステップ: 1 kHz / 5 kHz

エアバンド:118 ~ 137MHz ステップ: 1 kHz / 25 kHz

2. 受信感度

FM (S/N=30 dB) 3 μ V未満

中波(S/N=26 dB) 1 mV/m未満

長波(S/N=26 dB) 5 mV/m未満

短波(S/N=26 dB) 20 μ V未満

SSB (S/N=10 dB) 1 μ V未満

エアバンド(S/N=10 dB) 5 μ v未満

3. 選択度

FM > 30 dB (\pm 200 kHz)

中波 > 40 dB (\pm 9 kHz)

短波 > 40 dB(\pm 5 kHz)

4. S/N比

FM 60 dB未満

中波 45 dB未満

短波 50 dB未満

5. 変換周波数

SSB, AM 第1中間周波数: 55.845 MHz

第2中間周波数: 455 kHz

FM : 10.7 MHz

6. FMステレオ混信 20 dB未満

7. 出力パワー

スピーカー450 mW イヤホン 10 mW

製品仕様

8. 周波数メモリ

- ・各バンド用メモリ合計800局

FM : 100局

中波 : 100局

短波 : 200局

SSB : 200局

エアバンド : 100局

- ・全バンド用メモリ1200局 (各ページ100局12ページ)

9. アラームモード : ラジオによるアラーム (2つのプリセット可能)

10. 消費電流

FM 50mA以下

中波/長波 70mA以下

短波 70mA以下

SSB 70mA以下

エアバンド 70mA以下

待機電流 80 μ A以下

11. スピーカー : D77mm/16 Ω /1Wコーンスピーカー

12. イヤホンジャック : 3.5ミリメートル、32 Ω 、ステレオタイプ

13. 電源 :

電池 : 単3乾電池または充電式電池、4本

外部アダプタ : DC6 V、 \geq 300mA

14. ユニットの寸法 : 約187 (W) \times 114 (H) \times 33 (D) mm

15. 重量 : 470グラム (電池含まず)